

悠 久

～タイトル由来～
「果てしなく長く続いてほしい」という想いから、これまでもこれからも
福祉事業に携わっていくという、強い信念と未来への期待を込めています。

広報紙 悠久

第7号 平成26年 8月発行

新潟県村上市上の山2番17号

TEL 0254(50)2222

社会福祉法人 村上岩船福祉会

URL:<http://www.murakamiwafune.or.jp/>



さつき園・グループホームまつかぜ～一人ひとりの安心と笑顔を支援します～

地域の皆様には日頃から当法人「村上岩船福祉会」に対し御理解と御協力を賜り心から御礼を申し上げます。

さて、当法人が発足して三十年余が経過しました。私達は先輩が築いてきた基盤を継承し、役職員が一体となり鋭意努力をしている所であります。業績については「それなりに」と思いますが、施設運営における最重要課題であります事故への取組みは、必ずしも万全とは言いきれません。

特別養護老人ホームは、文字通り高齢者の施設です。軽微な事故は勿論、重篤な事故については法人の命運を左右する大事であります。

去る四月に発生した「韓国船」の沈没事故は多くの生命が犠牲になりました。報道では的確な救援活動を行えば大惨事は防げた筈と、内外から批判がありました。私達はこの状況を他人事、対岸の火事とせず法人の教訓として、予知のできない地震や火災にも日頃のグループ勉強会等で問題意識を共有し、不安全な行為に対し徹底したポテンシャルの摘出排除に努めて行きます。

そして利用者と御家族に対し安心と安全を提供し、地域の方々から選ばれる法人を目指し役職員が全力で努力をして参ります。

地域、関係する皆様には御指導と御鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。



ご挨拶

理事

青塚 貞夫



障害者支援施設浦田の里 (入所50名)

施設入所支援(50名)
短期入所(児童・者)(6名)
生活介護(39名)
自立訓練(生活訓練)(6名)
日中一時支援事業(6名)
相談支援事業

障害福祉サービス事業所浦田の里(通所) (40名)

生活介護(20名)
就労継続支援(B型)(20名)
村上市岩船231-1
TEL 0254-53-1803
あかね寮(7名)
村上市大欠10-6
いいのホーム(5名)
村上市飯野3-15-49



特別養護老人ホームいわくすの里(長期80名短期20名)

デイサービスセンターいわくすの里(30名)
居宅介護支援事業所いわくすの里
在宅介護支援センターいわくすの里

障害者支援施設いわくすの里

施設入所支援(20名)
短期入所(2名)
生活介護(26名)
日中一時支援事業(5名)
相談支援事業
村上市上の山2-17
TEL 0254-50-2100

本部事務局

TEL 0254-50-2222



特別養護老人ホームさつき園(長期100名短期20名)

居宅介護支援事業所さつき園
在宅介護支援センターさつき園
村上市北新保683-9
TEL 0254-66-8877

認知症高齢者グループホームまつかぜ(9名)

村上市北新保683-1
TEL 0254-66-8882

社会福祉法人 村上岩船福祉会 基本理念 一人ひとりの安心と笑顔のために



特別養護老人ホームゆり花園(長期50名短期20名)

在宅介護支援センターゆり花
村上市勝木862-10
TEL 0254-77-2475



特別養護老人ホームたかつぼ(長期70名短期20名)

デイサービスセンターたかつぼ(27名)
居宅介護支援事業所たかつぼ
在宅介護支援センターたかつぼ
村上市下鍛冶屋572-7
TEL 0254-62-1455

認知症高齢者グループホームたかつぼ(9名)

TEL 0254-62-1478



【従たる事業所】

障害福祉サービス事業所みどりの家朝日

村上市鶴渡路1999-2(B型)(20名)
TEL 0254-72-0288



特別養護老人ホーム羽衣園(長期49名短期20名)

地域密着型特別養護老人ホーム羽衣園(21名)
デイサービスセンター羽衣(32名)
居宅介護支援事業所羽衣
在宅介護支援センター羽衣
村上市岩沢1616
TEL 0254-72-0055
高齢者生活福祉センターふれあい羽衣(15名)
村上市岩沢1622
TEL 0254-72-6722



【主たる事業所】

障害福祉サービス事業所みどりの家

就労継続支援(B型)(30名)
村上市羽黒町1-3
TEL 0254-52-1930



特別養護老人ホーム垂水の里(長期50名短期20名)

居宅介護支援事業所垂水の里
在宅介護支援センター垂水の里
関川村大字湯沢728-1
TEL 0254-64-2322

ご挨拶

この度、4月の人事異動により本部事務局長を拝命いたしました。今までの施設現場での仕事から業務が大きく変わり、戸惑いながら勤務をさせていただいております。

社会福祉法人をめぐる社会的な情勢は、現在大きな変化の中にあると感じています。社会福祉法人に求められる役割は、今後すめられる地域包括ケアシステムの中でますます大きくなっていくと予想されます。サービスの質を高めていくことはもちろんですが、社会福祉法人の原点を忘れることなく、社会や地域のニーズに合った取り組みを進めていかなければならないと感じています。

また、本部事務局の役割については、理事会の決定事項を各施設に周知徹底するとともに、各施設がより良いサービス提供を行うために業務の分担やサポートを行っていくことが大切になっていくと考えています。本部事務局として今後取り組むべき課題は多いと思いますが、目標を持って、できるところから取り組んでいきたいと考えています。

法人の基本理念に沿って当法人を利用される皆様により良いサービスを提供していくため、各施設を支援していけるようこれから努力していきたいと考えています。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

事務局長 鈴木 克己

サービスの ご利用について

当法人は2頁のとおり、高齢者・障害者等へのサービスを提供しています。

各事業所に相談窓口を設けていますので、入所又はご利用の際は、お気軽にご相談ください。

法人内特養ホームにおける サービスの平準化と質の向上

特養サービス管理課は、組織図のとおり、5つの専門職の係で構成されており、「サービスの平準化と質の向上」を目指し、これまで様々な具体的取り組みを行ってきました。各種マニュアルの統一、利用者満足度の把握とサービスへの反映等もその二つです。法人内のどの特養をご利用頂いても同じサービスが提供できるよう今後も努力を重ねて参ります。

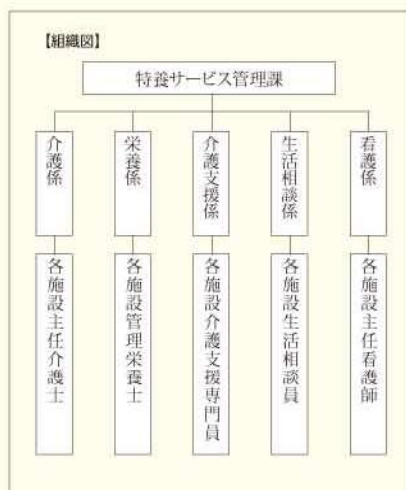
平成二十六年度は、次の4点が重点目標となっております。

- ①職員の自主点検と利用者満足度調査の実施
- ②新潟県福祉サービス第三者評価基準による自己評価の実施と情報の共有・共通理解
- ③各係毎の課題解決、各種マニュアルの見直し・整備
- ④キャリア段位制度の検討と人材育成

「第三者評価受審」については、各施設が中期計画に掲げ、順次受審することとしています。

また、「食」については、健康の維持・増進だけでなく、生活の中での楽しみや張り合いにつながる重要なことと捉えています。今年度、栄養係では特に、法人統一メニューの更なる充実や手づくりおやつ提供等に力を入れていきたいと考えています。

特養サービス管理課長 田巻 清美



研修課の活動報告

当法人の研修は、基本理念及び基本方針に基づき、職員の成長とサービスの担い手としての資質向上のため、効果的な研修を計画的に実施し、その成果を利用者サービスの向上や社会のニーズに貢献することを目指すことを目的としています。

今年度これまで終了した法人内研修は次のとおりです。

4月22日新任職員研修（11名）、内容は理事長訓辞、先輩職員アドバイス、福祉サービス、組織活動の基本、接遇マナーについての講義、法人他施設・事業所見学。

5月14日新任職員OJT担当者研修（10名）、内容は、OJT担当者の役割と実務についての講義と昨年度OJT担当者によるアドバイス。

今後キャリアパスに対応した人材育成につなげることができるよう、職務階層に応じた研修の充実を図っていききたいと思います。

研修課長 鈴木 忍



新職員研修



OJT担当者研修

うらた

URATA
NO
SATO

平成二十六年年度の取り組み

《重点目標》

◆障害者支援施設 浦田の里

【自立訓練(生活訓練)／生活介護】

- ① 第三者評価受審結果の活用
- ② 個別支援と栄養ケアマネジメントの充実
- ③ 権利擁護の推進
- ④ 事故防止と感染症の予防
- ⑤ 人材育成と職場の活性化
- ⑥ 家族ボランティア・関係機関との連携

◆障害福祉サービス事業所浦田の里(通所)

【就労継続支援B型／生活介護】

- ① 提供サービスの点検
- ② 工賃水準の向上
- ③ 安全の確保
- ④ 職員の資質向上と人材育成
- ⑤ 家族ボランティア・関係機関との連携

◆障害者グループホーム(あかね寮)のホーム

【定員：グループホーム

女性7名(体験1名含む)／男性5名】

- ① 個別支援の充実
- ② 主体性の尊重
- ③ サービスの質の向上
- ④ 体験利用の推進
- ⑤ 地域との連携

◆相談支援事業浦田の里

- ① ケアマネジメントの充実と計画相談の支援の強化
- ② 権利擁護の推進
- ③ ネットワークの構築
- ④ 地域自立支援協議会との連携を重点目標として取り組んでいきます。

グループホームの変遷

知的障害者のグループホームが法制化された際、当時の村上市育成会の主だった方たちが、地域の知的障害者のために「グループホーム」あかね寮を立ち上げ、平成十一年十月当法人の運営となりました。平成十八年十月障害者自立支援施行によりグループホームとケアホームという形態に変わり、平成二十二年四月より男性用のケアホーム「いいのホ



いいのホーム

ーム」を開始。平成二十六年からは障害者総合支援法の施行によりグループホーム、ケアホームに分かれていたものが、グループホームに一本化されました。

目まぐるしく変化する事業形態ですが利用される方々には、安心して生活いただけるようにバックアップ施設として対応しています。あかね寮では、すぐにグループホームで生活するのは…という方のために体験的に宿泊できるサービスも行っています。興味がある方は、最寄りの相談支援事業にお問い合わせてください。



あかね寮



あかね寮 体験部屋

相談支援事業 浦田の里

今年度より、相談支援専門員を一名増員し、三人体制で支援を行っております。皆様が地域で安心した生活が送れるよう、より一層きめ細やかな支援をしていきたいと思っております。障害に関する悩みや将来に関する相談などありましたらお気軽にご相談ください。



横山相談支援専門員
板垣相談支援専門員
中山相談支援専門員



みどりの家

平成二十六年年度の取り組み

施設長 佐藤 三三

《事業方針》

利用者の意思及び人格を尊重し、その人の立場に立った支援に努めると共に、住み慣れた地域で安心して働ける場所として、継続的な作業の提供と工賃水準の向上に努めます。また、地域の社会資源として新規の利用者についても、受け入れ態勢の整備を進めます。

《重点目標》

- ① 主たる事業所の移転新築
- ② 第三者評価の受審
- ③ 個別支援計画の充実
- ④ 作業調整会議の開催
- ⑤ 作業経費の抑制
- ⑥ 就労移行支援
- ⑦ 事故防止の強化
- ⑧ 家族・地域・関係機関との連携と地域に根ざした施設作り
- ⑨ 職員の資質向上

施設外作業

- 様々な作業の場を提供し、地域の方との関わりを大切にする。
- 確実に作業が行えるようスキルアップを図り、作業収入を得られるようにする。



受託作業

- 型はめ作業や期間限定で入る箱折り作業などを継続して行う。
- 最大目標376,000円の売り上げを目指す。



精米作業

- 利用者様に作業を通じて、役割ややりがいを感じていただけるようにする。
- 岩船産コシヒカリ100%のお米をお客様においしく召し上がっていただけるよう品質管理を徹底する。
- 目標収入を達成する。



各作業班の今年度の目標

農耕作業

- 今までの反省点をもとに昨年度比350,000円増を目指す。
- 椎茸、加工トマト、枝豆などより品質のよい作物を収穫できるよう作業に取り組み、収入アップを目指す。



クリーニング作業

- 利用者様がやりがいを持ち作業に取り組むことができるよう安全面に配慮する。
- 日々の作業効率と経費削減に努める。



就職おめでとう

大滝あいさんが、約4ヶ月の実習を経て、4月から特別養護老人ホームゆり花園に就職しました。
リネン交換、清拭たたみ、車椅子の掃除、物品の補充などががんばっています。



障害者支援施設

いわくすの里

平成二十六年年度の取り組み

施設長 田巻 清美

《事業方針》

利用者一人ひとりの人権を尊重し、利用者の自立を支援するとともにサービスの質の向上に向けた具体的な取り組みを展開します。

障害者福祉の拠点として、地域の福祉ニーズに対応し、地域に信頼され開かれた施設を目指します。

《重点目標》

- ① 個別支援の推進
- ② 個別リハビリテーションの実施
- ③ 職員の資質向上と人材の育成
- ④ 地域生活移行支援
- ⑤ 重症心身障害児者の受け入れと環境整備

今年度は、利用者から希望の多かった外出支援の充実のため、車イス対応の軽自動車を一台中車し、個別支援や生活の質の向上につなげたいと考えています。

新たな取り組みとしては、四月より、医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受け入れを始めております。

また、村上市から指定を受け、相談支援事業を開始しております。全ての利用者が「サービス等利用計画」に基づき、適切なサービスが利用できるよう支援していかねばならないと改めて感じています。

関係機関をはじめ、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所等との連携により、ネットワークの構築に努め、相談支援体制を強化していきたいと思っております。

買い物外出



カラオケ大会



お花見



書道



合同運動会



畑作



年中活動紹介

事業方針と重点目標にもとづき様々な活動を行っています。ここでは、その一部をご紹介します。

新事業「相談支援事業」



相談支援専門員
小池 正弘

今年四月から相談支援事業を始めました。サービス等利用計画作成の他にも困り事や悩み事の相談等も行っています。お気軽にご連絡ください

☎直通(0254)5012101

☎代表(0254)5012100

重症心身障害児者の受け入れ

重点目標にありますように、四月から重症心身障害児者の受け入れを始めました。医療的なケアが必要な利用者様に安全・安心なケアを提供できるよう、看護・介護両面での体制整備に努めます。

ボランティア募集

いわくすの里では、利用者の皆様の買い物の付添や書道の講師などのボランティアを随時募集しています。まずはお気軽にお電話ください。

障害者支援施設いわくすの里

☎(0254)5012100

担当：本間・遠山



特別養護老人ホーム

いわくすの里

平成二十六年年度の取り組み

施設長 田巻 清美

特別養護老人ホーム

《事業方針》

利用者一人ひとりの生活の意向に基づき、尊厳を支えるケアの提供に努め、利用者、家族との信頼関係を深めます。また、地域の社会資源として広く地域住民に利用され、親しまれる施設を目指します。

多職種協働によるチームケアの層の充実と健康的で働きやすい職場づくりに努めます。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② 福祉サービスの質の向上
- ③ 健康の保持と感染症・食中毒予防対策の徹底
- ④ 認知症ケアの充実と接遇徹底による虐待防止
- ⑤ ターミナルケアの充実
- ⑥ 介護事故の再発防止
- ⑦ 実習指導者の育成と教育機能の充実
- ⑧ 健康的で働きやすい職場づくり

デイサービスセンター

《事業方針》

利用者の自立支援、介護予防の視点に立ち、心身機能の維持向上を図るとともに、利用者に親しまれ、楽しみながら利用できる事業所を目指します。また、家族の介護負担を軽減し、利用者が可能な限り住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援します。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② 認知症の進行防止とケアの充実
- ③ 安定経営と延長サービス対応による地域福祉への貢献
- ④ ボランティアの積極的な受け入れと新規開拓
- ⑤ 生活機能向上につながる活動内容の検討実施

花の種まき



フウセンカズラの種



アサガオの種

生け花



＊日光浴＊



桜の花を見ながら日向ぼっこ

特養

居宅介護支援事業所



4月から、事務所向かいの旧ヘルパーステーションに引っ越し、相談スペースが広く、明るくなりました。

介護が必要となっても、住み慣れた地域で、自分らしい生活を送れるよう、私たちが一緒に考え、サポートします。



中山 愛

時田 喜雄

渡邊 賢一



皆さんで楽しくリハビリ体操♪

ショートステイ

デイサービス



「創作活動」利用者共同作品



今年は押し花に挑戦中! 作った押し花で名札を作ります。

今年も種まき、苗植えを行いました。只今、手入れ中!



午後のひととき おやつの時間です。

【特別養護老人ホームたかつぼ】

いきる
あなたらしく生活する

たかつぼ

一人ひとりの
安心と
笑顔のために

認知症高齢者グループホーム

家庭的な環境のもと、健康で生きがいのある生活を提供します。地域の人と日常的にかかわり、自宅で生活していた時の大切な人との関係を断ち切ることが無いよう支援します。

重点目標

栄養バランスのとれた食事と異常の早期発見
・早期治療により、入居者の健康を維持します。



四季折々の季節食をみなさん協力して手作りしています。味もひと際格別です。

食前にはリハビリ体操と口腔体操をしています。おいしく食事を頂けると、評判です。

デイサービスセンター

体力の低下や身体機能の低下を防ぎ、認知症の進行を遅らせることで、利用者の笑顔が家族の安心につながるサービスを目指します。

重点目標

◎利用者の満足

デイサービスを利用することで楽しみを見つけ、生活意欲につながるよう支援します。充実した個別機能訓練や広い静養室でゆっくり休んでいただくなどメリハリのあるサービスを提供します。

特別養護老人ホーム

利用したい事業所、働きたい職場を目指します。また、地域を支える視点を大切に、在宅介護支援センターを窓口として積極的に地域に出向き、施設が有する機能を地域に提供します。



来年は私も走る！

地元、保内小学校大運動会



懐かしの名曲を合唱♪



食後の棋友との一戦！

居宅介護支援事業所 在宅介護支援センター

ケアマネジメントを的確に行い、介護が必要になっても住み慣れた家で、利用者が望む生活が送れるよう支援します。(居宅介護支援)

重点目標

◎地域を支える

荒川地区地域包括支援センターと随時連携しながら、高齢者の状況把握、地域で必要な支援、各種必要な制度の利用を促進します。

通所介護事業所・短期入所生活介護事業所・居宅介護支援事業所・認知症高齢者グループホームを含めた、総合的な機能を活かし、地域を支える拠点施設の窓口を目指します。(居宅介護支援)

重点目標

医療関係者と連携を強化し、看取りに向かっている利用者が在宅で安心して暮らせるよう支援します。



1分間ボールすくいゲーム
楽しみながら認知面や筋力の維持につなげる、レクリエーションの提案



状態にあった機能訓練内容の提案

ウェルトニック&サークル歩行器

重点目標

◎地域から信頼され選ばれる事業所

第三者評価受審結果による改善活動を継続します。個別ケアへの取り組みを強化するため、グループケア体制を見直します。ご利用者の要望による食行事や利用者個々の趣味支援のためのボランティアを導入します。また、働きやすい環境を整えるため、衛生委員会や業務改善委員会を充実します。

平成25年度 ご寄附
小川 三工 様
須貝 俊郎 様
藤間 優子 様
黒子 秀雄 様
植村 尚志 様
佐藤 豪至 様
金屋小学校 様
（福）新潟県社会福祉協議会 様
平成25年度指定寄付金助成事業
特別養護老人ホーム・デイサービスセンターに各、助成金十万円、車イスを購入させて頂きました。
他、ご利用者ご家族様・地区の皆様から沢山のご寄付を賜りました。
すべてをご紹介できないのが残念ですが、この場を借りて心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

ゆり花園



平成26年度ゆり花園の取り組み

施設長 東海林則夫

特別養護老人ホーム

《事業方針》

「一人ひとりの安心と笑顔のために」を実現するため、良質かつ適切なサービスの提供に努めます。サービスの提供にあたっては、利用者本位のサービスの提供に努めるとともに他職種との連携、協働を図ります。また、地域に理解され開かれた施設運営を目指します。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② ターミナルケアの充実
- ③ リスクマネジメントの徹底
- ④ 食生活によるQOLの向上
- ⑤ 地域との連携と協力
- ⑥ 職員の資質の向上

在宅介護支援センター

《事業方針》

地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等との連絡を密に図ります。

《重点目標》

- ① 介護者教室等の開催
- ② ボランティアの積極的な受け入れ

日本財団様より助成を頂き
車いす対応車(軽自動車)の
整備を完了いたしました



お花見

私の方がきれいだよ!!



園風景

みんなで歌を歌ったり♪ おいしいおやつを食べたりしています



笹ダンゴ作り

自分たちで笹ダンゴを
作って食べました



農村生活地域アドバイザー
の方々による作業ボランティア



ほろも

○特別養護老人ホーム

《事業方針》

- ① サービス担当者会議を定期的に開催し、施設サービス計画に基づき有する能力に応じて自立した日常生活を送れるよう援助します。
- ② 人権を尊重し、利用者の立場に立つた良質なサービスの提供に努めます。
- ③ 地域と家庭との結びつきを重視した運営を行います。
- ④ 安全確保に留意し事故防止に努めると共に、緊急事態に適切な対応を図ります。

《重点目標》

- ① 利用者の主体性を尊重し、状況に合わせた介護・支援QOLの向上
- ② 人権意識の徹底、身体拘束のない介護・支援の継続、虐待防止
- ③ サービスの向上
- ④ 短期入所生活介護事業の利用率と空床利用の向上
- ⑤ 地域密着型養護老人ホーム

《事業方針》

- ① 入居者に寄り添い一人ひとりの自律した暮らしを支援します。
- ② 地域と家庭との結びつきを重視した運営を行います。

《重点目標》

- ① 暮らしのアセスメント
- ② 暮らしのケアプラン
- ③ 安心・安全

○デイサービスセンター

《事業方針》

- ① 在宅生活の維持を前提にした支援を行います。
- ② 社会的孤立の予防を前提とした活動を行います。
- ③ 心身機能の維持・向上に向けた支援を行います。

《重点目標》

- ① 利用者の主体性を尊重し、状況に合わせた介護・支援利用者個々に合わせた活動の提供
- ② 二次予防事業の受託

地域密着型

今まで以上に地域とのつながりを大切にしています

生活の継続、自己決定の場を尊重しています
(お酒をたしなんだり、趣味を楽しんでいます)

真剣に将棋をさしています

今回も笹団子作りしました
美味しそう~!!



母の日のプレゼントを手に
記念撮影



特養羽衣園ユニット棟は、平成二十六年四月、「地域密着型特別養護老人ホーム羽衣園」として再スタートを切りました。地域密着型サービスとは、認知症高齢者や中重度の要介護高齢者等が出来る限り住み慣れた地域での生活が継続できるように、平成十八年四月の介護保険制度改正により創設されたサービス体系です。馴染みの土地、馴染みの人たちに支えられながらこれまでの暮らしを継続しつつ、その人らしく自律した生活を支援してまいります。地域密着型特養羽衣園を今後ともよろしく願います。



デイサービス

団子の木飾り



大好評!!
毎月の行事食



食事外出でお寿司を満喫



おいしい天然水
(高根)



ボランティア募集!

羽衣園では随時ボランティアを募集しています。施設を利用している方のお話し相手や清拭たたみ・縫い物・草取り等出来る事で結構です。

歌や楽器、踊り等を披露して下さる方も大歓迎です。

お一人でグループでもお気軽に遊びに来て下さい。

お待ちしております。



題字:小池壽哉 様

事業計画

利用者と職員の相互で豊かな関係性を大切にし、その方の尊厳を大切にした生活を支援するために個別の生活ニーズの把握に努め、個別ケアの推進に努めます。また、地域との交流を継続して実施していくとともに、家庭的な生活環境の整備を進めます。

重点目標

①個別ケアの推進 ②家庭的な生活環境の整備 ③食べる楽しみの提供 ④地域とのつながり ⑤防災対策

田植え



「大きく育てよう」



利用者の皆さんと、田植えをしました。
秋に収穫できるように、大切に育てます。



「草取りも、大事なんだよ」

世代交流芋植え



園内散歩



お天気の日に きれいに咲いた
お花畑を散歩しました。



「きれいなお花をもらったよ。
大事に育てるからね」

みどりの少年団



「どうしたら、豊作になりま
すかね?」



「コッが色々あるんだよ」

畑談義に、花が咲きます。

家庭的で安らぎのある生活

押し花ボランティア



ボランティアさんと一緒に、押し
花を作りました。

おやつ作り



「もう少しで焼けるよ」

「早くできないかな」



皆さんで、一緒に
おやつ作りをし
て、美味しくいた
だきました。



「たいしたもんだね～」

荒川民謡友の会

荒川民謡友の会の
皆様に、歌や踊りを
披露していただき
ました。

ラーメン作り

大好きなラーメンを作りました。作る楽しみ
と食べる楽しみ、両方を味わいました。



「野菜を切つて」



「お鍋で煮て」



「いただきます」

さつき園

平成26年度事業方針 特別養護老人ホーム

利用される方の安心と笑顔をつくるために、そして利用される方の思いやその家族の思いを大切にし、自己決定を原則とした共同決定を実践できるように努めます。

《重点目標》 ①個別ケアの実践 ②地域・関係機関との連携 ③食生活を大切にする ④専門職の育成

赤棟 | 副主任介護士 板垣智美

赤棟は二つのユニットに分かれています。

経管栄養、寝たきりの方が多いユニットでは口腔ケアに力を入れ、各自にあったケア用品を使用し、誤嚥性肺炎の予防に努めています。また個別ケアにも力を入れ、居室担当を中心に利用者一人ひとりの生活全般に関わり、カンファレンスしながら少しでも満足 of 生活が出来よう努めています。

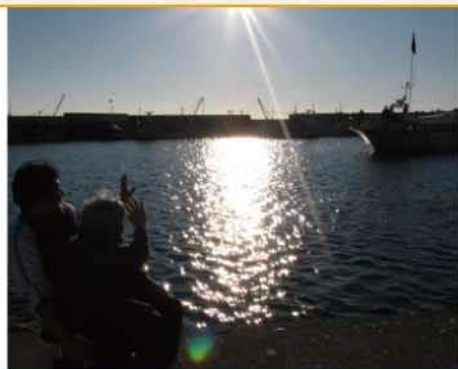
利用者の日々の変化を見逃さず、些細なことも聞き逃さず、利用者中心のケアを目指します。



黄棟 | 主任介護士 磯部慶子

黄棟ユニットが今年度取り組んでいきたいことは、利用者一人ひとりと積極的な関わりをもち、利用者または家族の思いを汲み取ったケアを行うことです。居室担当を中心に申し送りを徹底し、実践、評価を繰り返し、利用者と家族が満足していただけるよう努力してまいります。また、バスハイクや外食ショッピング等、外に出かける機会を設け、地域の方々と触れ合う場を積極的に提供していきたいと思ひます。

ショートユニットにおいては、利用者、家族、関係機関との情報交換とニーズ把握を行い、利用しやすい環境を整え、安心して利用して頂けるように取り組んでいきます。



緑棟 | 介護士 川村隆之

緑棟では、認知症の進行や加齢に伴い、食事摂取量の低下する方が見られます。そこで、毎日の食事状況や体重の増減のチェックを行い、嚥下の低下が見られた場合は、介護士、管理栄養士、看護師が共にカンファレンスを行い、より適した食事ができるよう改善しています。

利用者一人ひとりにあった食事を提供することで、食事量を確保し誤嚥を防ぎます。また、褥瘡予防や皮膚トラブルも栄養面を充実させることで防いでいます。今後もこのような継続したケアで利用者の笑顔を引き出せるよう努めていきます。

平成26年度事業方針 認知症高齢者グループホームまつかぜ

ホーム長 高橋洋子

家庭的な雰囲気の中で、地域との関わりをもち楽しさと尊厳のある生活を営むことができるよう、利用者本位の支援の提供に努めます。

重点目標は、地域交流の積極的実践に取り組んでいきます。これまでも、地域の収穫祭や行事に参加したり、奉仕活動や中学校の文化祭の見学に出かけていました。

今年度は、保育園児や小学生とも交流を行い、さらに地域の方々との交流を深めていこうと考えております。

